

【発行】大船渡仮設住宅支援事業

〒022-0004

岩手県大船渡市猪川町字長洞 62-1

大船渡仮設住宅支援事業事務局内

TEL : 0120-628-638

E-Mail : ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp

Web : http://ofunatocity.jp

はまらい

大船渡仮設住宅 支援員新聞

No.3 10月号
2012.

▲ 囲碁を楽しみながら世間話もしたり。冗談にも花が咲きます

後ノ入仮設団地

赤崎町後ノ入仮設団地の集会所では、メンズサロンという、お茶や遊びを楽しむ男性のための寄り合いが行われています。毎週火曜、10時から15時まで開かれています。

「女性は集会所をよく利用するが、男性も、家にこ

もっているよりお茶を飲みながら、話し語りしてもらいたいんだ」。そう語る、主催者の金野邦夫さん。きっかけは、金野さんが思い悩んでいたことでした。「団地内の友達の所へ話をしに行きたいのだが、なにしろ仮設の中は狭い。遠慮してし

男性の楽しみの場に

「話しかだりすつぺ」
メンズサロンで集まる機会を

あの人
に
インタビューまた来たいって
思わせてくれる街、大船渡大船渡仮設住宅支援事業
インターン学生中央大学 2年
小野 菜都実さん (20)

▲ フレッシュな笑顔が素敵ですね！

小野さんは就業体験として9月5日から3週間、事務局で仕事を手伝ってくれていた、福島県出身のほっこりガールです。

Q. なぜこの大船渡で、この仮設支援事業で、就業体験をしようと思ったのですか

私の地元は福島県いわき市で、私の周りの方々は震災後少なからず被害があり、とても他人事とは思えません。私も募金などで、わずかですが協力させていただいていましたが、もっと何かし

たいって気持ちが強くなったんです。

それで、この就業体験を通して、大船渡市の仮設住民の方々やそこで働いている方々の、実際の生の話を伺って、お気持ちや状況を知らりたいと思いました。

Q. この体験を経験した感想と、今後の目標も教えてください

今私は事務局のお手伝いとして、ある事業の書類作成のために、毎日パソコンで事務作業や仮設団地に取材に行き、仮設の方々と関



▲ 真剣勝負！

このイベントには赤崎町から他地区の仮設へ移った方や、金野さんの知り合いの方なども加わり、毎回10名ほどが参加されているようです。中には午前中働いて、午後はこちらに参加するという方もいるとか。

友達とゲームでストレス発散！

皆さん気軽にいられて、お友達や初めて会った方と、顔を見ながらゲームやお話をしたりするのを楽しんでいる印象を受けました。男性だけで集まれる機会はほとんど無いですが

取材した日は囲碁と、カードゲームのウノを楽しんでいました。囲碁を打つ方の眼差しは真剣。ウノのグループでは、今までやったことのないゲームに興味津々です。ルールを教わりながら盛り上がっていました。

た。「外国の遊びは掛け声もあって面白いね。色もきれい。仮設にいるうちに全部覚えたいなあ」という方も。この他にも将棋や、日によって花札、DVD観賞などもしているようです。

す。参加された皆さんも、実際にストレス発散の場になっているようです。

仮設住宅でウズウズしている男性の皆さん、お友達を誘って気軽に集会所を利用してみませんか？

わらせて頂いています。ある仮設団地に取材に行った際には、震災直後の、津波が来るまでの状況のお話を聞くこともありました。

現在東京に住んでいます。メデアでは震災のことをあまり取り上げられていません。大船渡市も復興は順調に進んでいると思っていました。津波の痕（あと）の街を見たら、あまり変わっていないのかなと思ひ、悲しくなりました。私がふれ合った被災地の皆さんは、辛い思いをされていると思います。それなのに、わたしみたいなよそ者にもあったかく接して頂いて、すごくありがたいです。

また絶対に遊びに来たいです。私には夢があって、それは内緒なんですけど（笑）、この経験が役に立つと思います。大船渡の方たちの前向きに頑張るひたむきさ、熱い想いを原動力にして、自分の夢を実現させたいと思います。

支援員ニュース おじゃましまーす

猪川町長谷堂仮設団地

住民と支援員の やわらかい関係

今回は、猪川町、長谷堂仮設団地へお伺いしてきました。

長谷堂は、21世帯の規模な団地。支援員は2名います。こちらでは、各住民が持ち

回りで班長を担当します。先日、団地でのバーベキューを行いました。班長と支援員で役割を分担し、住民の方も積極的にお手伝いをしてくれたそうです。子供たちや近所の方もたくさん集まって、とても盛り上がりました。また別の日は、ツバメが集会所に入ってきてしまったのだそうです。怖がる支援員を別の部屋に

押し込み、ツバメを外に逃がしたのは、集会所に遊びに来ていた班長さんと住民の方でした。

長谷堂は住民同士の仲も良好です。小さな団地なので、イベントも、お茶会やヨーガ教室など月に5回程度。しかしイベントなどがなくても、住民が何人か集まって飲んだり食べたりしているうちにだんだん人が増えてきて、まるで団地の交流会のようになってしま

気軽に相談できる関係

お互いこのような関係になるまで、団地内の掃除などを、班長さんをはじめとした住民さん方と一緒に頻りに行ったりするなど、交流を深めていきました。現在の阿部班長さんは、2人の支援員とは気軽に話せるといえます。ほとんど毎日集会所に顔を出し、何気ない話や、住民さんの様子なども教えてくれたりします。また支援員も、自分では答えが出ない時、よく相談するなど信頼し合っているようです。



▲(上) 支援員が呼びに行くと、すぐ集まってくれました。
(下) 友達のように談笑する班長さん(左)と支援員。

3人の人柄からか、お邪魔した時からゆったりとした雰囲気、肩ひじ張らずに取材が出来ました。

くらしの知恵

気軽に相談してみませんか「二〇番」ひとりで悩まないで

「警察署」と聞いて皆さんはどういったイメージをもたれますか。

警察へ相談するのは気が引けると言う方もいらっしゃると思います。しかし、そんな事はありません。もし近くに相談できる人がいない時、警察は相談者が一番良い解決方法に導けるように、各関係機

「我慢しないで相談してくださいね」と話す門間さん



関を紹介しします。住民の方々がストーリーカー行為等で身の回りに不安を感じた時も、事前に相談することで、犯罪や事件を防ぐことも可能です。

大船渡警察署生活安全課長、門間さんは、「より良い道へ、相談者のために全力を尽くす。それが私たちの役割です。もし暴力などを受けてい

たら、我慢せずに相談してください」と話します。

警察は、様々な場面で活躍してくる、身近で頼もしい存在です。また、警察が重要に思っているのは、相談者が不安に思わなくて済むような社会にしていけることです。私たちが取材に伺った際も、優しく、親身にお話しする門間さんが印象に残りました。

■大船渡警察署／TEL 0120-628-638

Information

●ヨーガ教室 (10月の予定)

- 9日(火) 14:00~15:30
【場所】赤崎町大立仮設団地(元鈴木商店を曲がって真っ直ぐ)
- 10日(水) 13:00~14:30
【場所】猪川町長谷堂仮設団地(総合公園予定地)
- 11日(木) 10:00~11:30
【場所】末崎町小中井仮設団地(末崎小学校付近の信号を直進して左側)

- 12日(金) 14:00~15:30
【場所】猪川町下権現堂仮設団地(下権現堂公園)
- 16日(火) 14:00~15:30
【場所】三陸町越喜来仲崎浜仮設団地(旧市立崎浜小学校)

※この他にも各仮設で様々なイベントがあります。また、予定が変更することもありますので、最新の情報はホームページ(Web: <http://ofunatocity.jp>)をご参照ください。

編集後記

今までに無かった、厳しい残暑も過ぎ去ろうとしています。コオロギが廊下で跳ねていたり。ちゃんと外に逃がさない、夜、とてもうるさいですね。

先日支援員を対象にした研修があり、被災した方の借金、ローン減免措置の話が弁護士さんがされました。今後の生活再建にあたる分を残し、それ以外の借金やローンは免除になるというもの。当初1万人の利用を見込んでいたところ、まだ70人程しか利用していないとか。査定も多少緩くなってい

るそうですので、これからの再建でお悩みの方は是非利用して頂きたいです。弁護士さんへの相談なら無料ですから、気軽に相談してみませんか? ■岩手弁護士会被災者ホットダイヤル: 0120-755-745

では、スポーツ、芸術、食欲、それぞれの秋を楽しんで下さいね。もちろん私は…食欲の秋☆(S)

新聞へのご意見・ご感想は、こちらまで。
大船渡市猪川町字長洞 62-1
大船渡仮設住宅支援事業事務局内
TEL: 0120-628-638
E-Mail: ofnt_otoiawase@yahoo.co.jp

今月のスマイル

おいしい魚を食べて
がんばっぺし!!



▲ 鎌田さんは、見かけによらずユニークで、芯のある方。(左端)

今回は大船渡町野々田で「復興居酒屋がんばっぺし」を営む、鎌田直樹さんをご紹介します。

見つけた土地に農業用ビニールハウスを建て、厨房や外観を設置し、何もかもを自力で仕上げました。

戻り、大船渡の人々を元気づけるために始めたのは、震災前自身が横浜でやっていた居酒屋でした。地主さんを探して探して、やっと

そんな鎌田さんから、若い人へ向けて力強いメッセージを頂きました。「今大船渡には求人がたくさん出ている。うちも出しているが、

職のない人は多いはずなのに、面接に来る人は全く無し。出来る出来ないじゃない、く、やってみて欲しい。選んでいる場合じゃないと思う。若い人がこれからの大船渡を盛り上げていかなきゃいけないですよ」。

がんばっぺしのオススメは、鎌田さん自ら市場で競り落としてくる魚のお刺身と、丸々一尾のマグロのおち。中おちは水揚げによって無い時もありますので、あつたらラッキー。ジャンケンで勝ったら食べる権利がもらえます。

話してみると、おどけたジョークも出たりと面白い鎌田さん。スタッフも生き生きとお仕事されています。